

A 下垂体疾患 a クッシング病

5 問

- 1 はき 10-76 疾患と血清カリウムとの組み合わせで正しいのはどれか。
1. アジソン病 — 低カリウム血症
 2. コン症候群 — 低カリウム血症
 3. クッシング病 — 高カリウム血症
 4. バセドウ病 — 高カリウム血症
- 2 はき 13-58 水牛様肩甲部脂肪沈着（バッファローハンプ）がみられるのはどれか。
1. クレチン病
 2. クッシング病
 3. ターナー症候群
 4. くる病
- 3 はき 18-73 クッシング病でみられやすいのはどれか。
1. 月経異常
 2. るいそう
 3. 低血圧
 4. 恥毛脱落
- 4 はき 23-38 下垂体前葉機能亢進症はどれか。
1. 尿崩症
 2. クッシング病
 3. シモンズ病
 4. バセドウ病
- 5 はき 28-49 疾患と視診所見の組み合わせで誤っているのはどれか。
1. アジソン病 ———— 恥毛脱落
 2. バセドウ病 ———— 眉弓部突出
 3. クッシング病 ———— 水牛様脂質沈着
 4. 甲状腺機能低下症 ———— 眉毛外側 1/3 脱落

6 はき 4-79 テタニー症状をきたす疾患はどれか。

1. 巨人症
2. 尿崩症
3. バセドウ病
4. 副甲状腺機能低下症

7 はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 — 多尿
2. 褐色細胞腫 — 高血圧
3. バセドウ病 — 眼球陥凹
4. 先端巨大症 — 舌の肥大

8 はき 14-71 巨人症でみられないのはどれか。

1. 発汗過多
2. 高血圧
3. 筋緊張亢進
4. 月経異常

9 はき 19-57 疾病と身体所見との組合せで誤っているのはどれか。

1. クッシング症候群 — 白色皮膚線条
2. プランマー病 — 甲状腺腫
3. クレチン症 — 低身長
4. 先端巨大症 — 下顎突出

10 はき 27-63 先端巨大症の原因とならないのはどれか。

1. 脾頭部腫瘍
2. 胃ポリープ
3. 下垂体腺腫
4. 気管支カルチノイド

11 はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

A 下垂体疾患 c 成長ホルモン分泌不全低身長症（下垂体性低身長症）	1 問
------------------------------------	-----

- 1 2 はき 16-68 成長ホルモン分泌不全性低身長症（下垂体性低身長症）について正しい記述はどれか。
1. 身体各部の均整はとれている。
 2. 知能の発達障害がみられる。
 3. 器質性が 80% である。
 4. 器質性の原因では脳炎が最も多い。

A 下垂体疾患 d 尿崩症	16 問
---------------	------

- 1 3 はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。
1. バセドウ病は男性に多い。
 2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
 3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
 4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。
- 1 4 はき 3-59 低比重尿をきたす疾患はどれか。
1. 尿崩症
 2. うっ血性心不全
 3. 糖尿病
 4. ネフローゼ症候群
- 1 5 はき 4-79 テタニー症状をきたす疾患はどれか。
1. 巨人症
 2. 尿崩症
 3. バセドウ病
 4. 副甲状腺機能低下症
- 1 6 はき 7-58 手指振戦をきたす疾患はどれか。
1. アジソン病
 2. バセドウ病
 3. 尿崩症
 4. 粘液水腫

1 7 はき 8-70 腎盂腎炎を起こしにくいのはどれか。

1. 馬蹄腎
2. 尿路結石
3. 膀胱尿管逆流現象
4. 尿崩症

1 8 はき 8-72 四肢麻痺をきたす疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 尿崩症
3. アジソン病
4. 原発性アルドステロン症

1 9 はき 9-69 症状と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. 血 尿 — 腎結石症
2. 頻 尿 — 膀胱炎
3. 無 尿 — 前立腺肥大症
4. 多 尿 — 尿崩症

2 0 はき 12-73 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「35歳の男性。口渇、多飲、多尿（低比重尿）、水制限試験で尿量の減少はみられなかった。」

1. 糖尿病
2. 心因性多尿
3. 尿崩症
4. 原発性アルドステロン症

2 1 はき 13-70 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「45歳の男性。高血圧、多尿、四肢麻痺、低カリウム血症、高ナトリウム血症を認めた。」

1. 尿崩症
2. 原発性アルドステロン症
3. 褐色細胞腫
4. 副甲状腺機能亢進症

2 2 はき 14-64 自己免疫疾患はどれか。

1. 尿崩症
2. 先端肥大症
3. バセドウ病
4. クッシング症候群

2 3 はき 15-62 疾患と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体性尿崩症 — 高張尿
2. 甲状腺機能亢進症 — 高コレステロール血症
3. 副甲状腺機能低下症 — 高カルシウム血症
4. アジソン病 — 高カリウム血症

2 4 はき 18-58 尿の異常と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 高比重尿 — 尿崩症
2. 多 尿 — 尿路結石症
3. 酸性尿 — 飢 餓
4. 尿 閉 — 急性腎炎

2 5 はき 18-70 下垂体性尿崩症について誤っている記述はどれか。

1. バゾプレッシンの分泌が低下している。
2. 続発性尿崩症の頻度が高い。
3. 高血糖を認める。
4. 多飲となる。

2 6 はき 19-59 乏尿をきたす疾患はどれか。

1. 脂質異常症
2. 尿崩症
3. 心不全
4. 高カルシウム血症

2 7 はき 23-38 下垂体前葉機能亢進症はどれか。

1. 尿崩症
2. クッシング病
3. シモンズ病
4. バセドウ病

2 8 はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

2 9 はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。

1. バセドウ病は男性に多い。
2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。

3 0 はき 2-57 頻脈となる疾患はどれか。

1. 心ブロック
2. 脳圧亢進
3. バセドウ病
4. 洞不全症候群

3 1 はき 2-70 二次性高血圧の原因とならない疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アルドステロン症
3. アジソン病
4. バセドウ病

3 2 はき 3-61 やせをきたさない疾患はどれか。

1. 甲状腺機能亢進症
2. 糖尿病
3. クッシング症候群
4. 褐色細胞腫

3 3 はき 4-79 テタニー症状をきたす疾患はどれか。

1. 巨人症
2. 尿崩症
3. バセドウ病
4. 副甲状腺機能低下症

3 4 はき 5-83 肥満をきたす内分泌疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. シーハン症候群

3 5 はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 — 多 尿
2. 褐色細胞腫 — 高血圧
3. バセドウ病 — 眼球陥凹
4. 先端巨大症 — 舌の肥大

3 6 はき 6-83 骨粗鬆症について誤っている記述はどれか。

1. 骨の化学的成分は正常である。
2. 骨の絶対量は減少する。
3. 閉経後に生じるのは高回転性である。
4. 甲状腺機能亢進症でみられる。

3 7 はき 6-86 バセドウ病でみられる症候はどれか。

1. 手指振戦
2. 寒がり
3. 眼瞼下垂
4. 徐 脈

3 8 はき 7-58 手指振戦をきたす疾患はどれか。

1. アジソン病
2. バセドウ病
3. 尿崩症
4. 粘液水腫

3 9 はき 10-74 四肢の筋力低下をきたさないのはどれか。

1. バセドウ病
2. 褐色細胞腫
3. 原発性アルドステロン症
4. 低カリウム血症

4 0 はき 10-76 疾患と血清カリウムとの組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 — 低カリウム血症
2. コン症候群 — 低カリウム血症
3. クッシング病 — 高カリウム血症
4. バセドウ病 — 高カリウム血症

- 4 1 はき 11-54 二次性高血圧症に関与しない疾患はどれか。
1. 急性糸球体腎炎
 2. 甲状腺機能亢進症
 3. 急性肝炎
 4. 褐色細胞腫
- 4 2 はき 12-81 手根管症候群の原因とならないのはどれか。
1. 妊 娠
 2. 甲状腺機能亢進症
 3. 関節リウマチ
 4. 糖尿病
- 4 3 はき 14-50 ホルモンと機能亢進による疾患との組み合わせで誤っているのはどれか。
1. 成長ホルモン — 先端肥大症
 2. コルチゾール — クッシング症候群
 3. サイロキシン — バセドウ病
 4. アルドステロン — 乳漏症
- 4 4 はき 14-64 自己免疫疾患はどれか。
1. 尿崩症
 2. 先端肥大症
 3. バセドウ病
 4. クッシング症候群
- 4 5 はき 15-62 疾患と病態との組合せで正しいのはどれか。
1. 下垂体性尿崩症 — 高張尿
 2. 甲状腺機能亢進症 — 高コレステロール血症
 3. 副甲状腺機能低下症 — 高カルシウム血症
 4. アジソン病 — 高カリウム血症
- 4 6 はき 16-69 甲状腺刺激ホルモンが高値となるのはどれか。
1. アジソン病
 2. バセドウ病
 3. 粘液水腫
 4. 胎状奇胎

4 7 はき 17-58 肥満をきたす疾患はどれか。

1. 下垂体機能低下症
2. 甲状腺機能亢進症
3. クッシング症候群
4. アジソン病

4 8 はき 18-61 徐脈がみられるのはどれか。

1. バセドウ病
2. 発熱
3. 貧血
4. アダムス・ストークス症候群

4 9 はき 20-50 アレルギー反応と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. I型アレルギー — バセドウ病
2. II型アレルギー — アトピー性皮膚炎
3. III型アレルギー — 全身性エリテマトーデス
4. V型アレルギー — グッドパスチャー症候群

5 0 はき 20-57 低身長となる疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. マルファン症候群
3. シーハン症候群
4. クレチン症

5 1 はき 23-38 下垂体前葉機能亢進症はどれか。

1. 尿崩症
2. クッシング病
3. シモンズ病
4. バセドウ病

5 2 はき 23-59 甲状腺機能亢進症でよくみられる症状はどれか。

1. 体重減少
2. 発汗量減少
3. 食欲低下
4. 記憶力低下

5 3 はき 24-53 顔貌と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. 仮面様顔貌 ————— 肝硬変
2. 満月様顔貌 ————— クッシング症候群
3. 無欲状顔貌 ————— 狭心症
4. ヒポクラテス顔貌 ——— バセドウ病

5 4 はき 26-52 低身長となる疾患はどれか。

1. マルファン症候群
2. シーハン症候群
3. 下垂体前葉機能不全症
4. バセドウ病

5 5 はき 26-53 視診所見と疾患の組み合わせで正しいのはどれか。

1. ヘバーデン結節 ————— 関節リウマチ
2. 眼瞼下垂 ————— 甲状腺機能亢進症
3. メズサの頭 ————— 肝硬変
4. ばち指 ————— 糖尿病

5 6 はき 27-39 III型アレルギーによる疾患はどれか。

1. 気管支喘息
2. 花粉症
3. 急性糸球体腎炎
4. 甲状腺機能亢進症

5 7 はき 27-49 疾患と視診所見の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 帯状疱疹 ————— 胸背部の発赤・水疱
2. 肝硬変 ————— 眼球結膜の黄染
3. パーキンソン病 ————— 水牛様肩
4. バセドウ病 ————— 眼球突出

5 8 はき 28-49 疾患と視診所見の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. アジソン病 ————— 恥毛脱落
2. バセドウ病 ————— 眉弓部突出
3. クッシング病 ————— 水牛様脂質沈着
4. 甲状腺機能低下症 ——— 眉毛外側 1/3 脱落

59 はき 28-52 脈拍について正しいのはどれか。

1. 貧血では頻脈を呈する。
2. 頭蓋内圧亢進時は頻脈を呈する。
3. 甲状腺機能亢進症では徐脈を呈する。
4. うっ血性心不全では徐脈を呈する。

60 はき 29-58 不眠がみられにくいのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. バセドウ病

61 はき 29-89 「45歳の女性。2か月前から易疲労感、動悸、息切れ、体重減少が出現した。血液検査では、血中ヘモグロビンと平均赤血球容積は低値であった。」症状発現の基礎疾患となるのはどれか。

1. 心臓弁膜症
2. 子宮筋腫
3. 甲状腺機能亢進症
4. 気管支喘息

B 甲状腺疾患 b 甲状腺機能低下症 粘液水腫 クレチン病

17問

62 はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。

1. バセドウ病は男性に多い。
2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。

63 はき 3-63 浮腫と原因との組合せで正しいのはどれか。

1. 粘液水腫 — 腎機能低下
2. 肝性浮腫 — 低タンパク血症
3. 腎性浮腫 — 副腎機能低下
4. 心性浮腫 — 静脈圧低下

64 はき 3-77 疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 成人T細胞白血病 — ウイルス
2. 血友病 — 血小板減少
3. 粘液水腫 — 甲状腺機能低下
4. 痛風 — 高尿酸血症

6 5 はき 4-78 粘液水腫について誤っている記述はどれか。

1. 甲状腺機能の低下である。
2. 寒がりとなる。
3. 頻脈が見られる。
4. 甲状腺刺激ホルモンが増加する。

6 6 はき 7-58 手指振戦をきたす疾患はどれか。

1. アジソン病
2. バセドウ病
3. 尿崩症
4. 粘液水腫

6 7 はき 8-57 低身長を起こさない疾患はどれか。

1. 下垂体前葉機能不全症
2. ターナー症候群
3. クレチン病
4. クラインフェルター症候群

6 8 はき 11-59 次の文で示す患者で最も考えられる疾患はどれか。

「56歳の女性。2か月で5kgの体重増加。体温が低く、寒さに敏感となってきた。」

1. 甲状腺機能低下症
2. クッシング症候群
3. 2型糖尿病
4. 先端肥大症

6 9 はき 13-58 水牛様肩甲部脂肪沈着（バッファローハンプ）がみられるのはどれか。

1. クレチン病
2. クッシング病
3. ターナー症候群
4. くる病

7 0 はき 13-69 甲状腺機能低下症でみられないのはどれか。

1. テタニー
2. 嗄 声
3. 便 秘
4. 言語緩慢

7 1 はき 16-56 発熱がみられないのはどれか。

1. 結 核
2. 甲状腺機能低下症
3. 皮膚筋炎
4. 肺 癌

7 2 はき 16-69 甲状腺刺激ホルモンが高値となるのはどれか。

1. アジソン病
2. バセドウ病
3. 粘液水腫
4. 胞状奇胎

7 3 はき 19-56 頻脈がみられるのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血
2. 糖尿病
3. バージャー病
4. 甲状腺機能低下症

7 4 はき 25-49 多毛症がみられるのはどれか。

1. クッシング症候群
2. ターナー症候群
3. 甲状腺機能低下症
4. クラインフェルター症候群

7 5 はき 25-50 脈拍について正しいのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血では徐脈を呈する。
2. うっ血性心不全では頻脈を呈する。
3. 甲状腺機能低下症では頻脈を呈する。
4. 出血性ショックでは徐脈を呈する。

7 6 はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

1. 褐色細胞腫 ————— 血中カテコールアミン低値
2. アジソン病 ————— 血中A C T H低値
3. 原発性アルドステロン症 ——— 血漿レニン活性低値
4. 原発性甲状腺機能低下症 ——— 血中T S H低値

7 7 はき 26-71 甲状腺機能低下症でみられるのはどれか。

1. 頻 脈
2. 眼球突出
3. 粘液水腫
4. 発汗過多

7 8 はき 28-49 疾患と視診所見の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. アジソン病 ———— 恥毛脱落
2. バセドウ病 ———— 眉弓部突出
3. クッシング病 ———— 水牛様脂質沈着
4. 甲状腺機能低下症 ———— 眉毛外側 1/3 脱落

B 甲状腺疾患 c 慢性甲状腺炎（橋本病）	7 問
-----------------------	-----

7 9 はき 1-52 誤っている組合せはどれか。

1. ツベルクリン反応 — 結 核
2. 拒絶反応 — 異型臓器移植
3. 免疫グロブリン — 細胞性免疫
4. 自己免疫疾患 — 橋本病

8 0 はき 17-50 自己免疫疾患とその障害臓器との組合せで誤っているのはどれか。

1. 橋本病 — 甲状腺
2. 悪性貧血 — 胃
3. 進行性全身性硬化症 — 中枢神経
4. 全身性エリテマトーデス — 腎 臓

8 1 はき 19-50 自己免疫疾患と合併病変との組合せで正しいのはどれか。

1. 全身性エリテマトーデス — 糸球体腎炎
2. 関節リウマチ — 内臓悪性腫瘍
3. 橋本病 — アフトタ性口内炎
4. 進行性全身性硬化症 — 胆汁うっ滞

8 2 はき 20-56 低カリウム血症がみられるのはどれか。

1. 橋本病
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 褐色細胞腫

8 3 はき 24-43 肥満細胞が主役となる疾患はどれか。

1. 花粉症
2. 結核
3. 橋本病
4. 関節リウマチ

8 4 はき 28-43 自己免疫疾患と自己抗体の組合せで正しいのはどれか。

1. 全身性エリテマトーデス ——— 抗核抗体
2. 橋本病 ——— 抗基底膜抗体
3. 糸球体腎炎 ——— 抗マイクロゾーム抗体
4. 関節リウマチ ——— 抗ミトコンドリア抗体

8 5 はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

C 副腎疾患 a 副腎皮質機能亢進症（クッシング症候群）	18問
------------------------------	-----

8 6 はき 2-60 顔貌と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. 無欲性顔貌 — うつ病
2. ヒポクラテス顔貌 — 癌末期
3. 仮面様顔貌 — 神経症
4. 満月様顔貌 — クッシング症候群

8 7 はき 3-61 やせをきたさない疾患はどれか。

1. 甲状腺機能亢進症
2. 糖尿病
3. クッシング症候群
4. 褐色細胞腫

8 8 はき 5-83 肥満をきたす内分泌疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. シーハン症候群

89 はき 7-76 高血圧がみられない疾患はどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. 褐色細胞腫

90 はき 11-59 次の文で示す患者で最も考えられる疾患はどれか。

「56歳の女性。2か月で5kgの体重増加。体温が低く、寒さに敏感となってきた。」

1. 甲状腺機能低下症
2. クッシング症候群
3. 2型糖尿病
4. 先端肥大症

91 はき 12-77 低血圧がみられる疾患はどれか。

1. クッシング症候群
2. コン症候群
3. シモンズ病
4. レイノー病

92 はき 14-50 ホルモンと機能亢進による疾患との組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 成長ホルモン — 先端肥大症
2. コルチゾール — クッシング症候群
3. サイロキシン — バセドウ病
4. アルドステロン — 乳漏症

93 はき 14-64 自己免疫疾患はどれか。

1. 尿崩症
2. 先端肥大症
3. バセドウ病
4. クッシング症候群

94 はき 17-58 肥満をきたす疾患はどれか。

1. 下垂体機能低下症
2. 甲状腺機能亢進症
3. クッシング症候群
4. アジソン病

9 5 はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症 — 高カリウム血症
2. クッシング症候群 — 高血糖
3. 褐色細胞腫 — 低血圧
4. アジソン病 — 多毛

9 6 はき 19-57 疾病と身体所見との組合せで誤っているのはどれか。

1. クッシング症候群 — 白色皮膚線条
2. プランマー病 — 甲状腺腫
3. クレチン症 — 低身長
4. 先端巨大症 — 下顎突出

9 7 はき 20-56 低カリウム血症がみられるのはどれか。

1. 橋本病
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 褐色細胞腫

9 8 はき 24-53 顔貌と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. 仮面様顔貌 ———— 肝硬変
2. 満月様顔貌 ———— クッシング症候群
3. 無欲状顔貌 ———— 狭心症
4. ヒポクラテス顔貌 ——— バセドウ病

9 9 はき 24-58 月経異常の原因とならないのはどれか。

1. ネフローゼ症候群
2. クッシング症候群
3. 子宮筋腫
4. 神経性食思不振症

1 0 0 はき 24-62 骨粗鬆症の原因でないのはどれか。

1. クッシング症候群
2. コルチコステロイドの投与
3. ビタミンA欠乏
4. 閉経

101 はき 25-49 多毛症がみられるのはどれか。

1. クッシング症候群
2. ターナー症候群
3. 甲状腺機能低下症
4. クラインフェルター症候群

102 はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

103 はき 29-58 不眠がみられにくいのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. バセドウ病

C 副腎疾患 b 原発性アルドステロン症 (Conn 症候群)	17問
---------------------------------	-----

104 はき 7-76 高血圧がみられない疾患はどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. 褐色細胞腫

105 はき 8-72 四肢麻痺をきたす疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 尿崩症
3. アジソン病
4. 原発性アルドステロン症

106 はき 10-74 四肢の筋力低下をきたさないのはどれか。

1. バセドウ病
2. 褐色細胞腫
3. 原発性アルドステロン症
4. 低カリウム血症

107 はき 10-76 疾患と血清カリウムとの組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 — 低カリウム血症
2. コン症候群 — 低カリウム血症
3. クッシング病 — 高カリウム血症
4. バセドウ病 — 高カリウム血症

108 はき 12-57 テタニーをきたさないのはどれか。

1. 過換気症候群
2. 副甲状腺機能低下症
3. 原発性アルドステロン症
4. アジソン病

109 はき 12-73 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「35歳の男性。口渇、多飲、多尿（低比重尿）、水制限試験で尿量の減少はみられなかった。」

1. 糖尿病
2. 心因性多尿
3. 尿崩症
4. 原発性アルドステロン症

110 はき 12-77 低血圧がみられる疾患はどれか。

1. クッシング症候群
2. コン症候群
3. シモンズ病
4. レイノー病

111 はき 13-70 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「45歳の男性。高血圧、多尿、四肢麻痺、低カリウム血症、高ナトリウム血症を認めた。」

1. 尿崩症
2. 原発性アルドステロン症
3. 褐色細胞腫
4. 副甲状腺機能亢進症

112 はき 15-63 原発性アルドステロン症の腎臓で再吸収が亢進しているのはどれか。

1. ナトリウムイオン
2. カリウムイオン
3. 水素イオン
4. カルシウムイオン

1 1 3 はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症 — 高カリウム血症
2. クッシング症候群 — 高血糖
3. 褐色細胞腫 — 低血圧
4. アジソン病 — 多毛

1 1 4 はき 19-55 周期性四肢麻痺がみられるのはどれか。

1. 高尿酸血症
2. 骨軟化症
3. 褐色細胞腫
4. 原発性アルドステロン症

1 1 5 はき 20-68 原発性アルドステロン症で正しいのはどれか。

1. 低血圧
2. アルカローシス
3. 高マグネシウム血症
4. 血漿レニン活性高値

1 1 6 はき 22-73 原発性アルドステロン症でみられるのはどれか。

1. 高マグネシウム血症
2. 低ナトリウム血症
3. アシドーシス
4. 血漿レニン活性低値

1 1 7 はき 24-47 レイノー現象がみられるのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. アジソン病
3. 全身性硬化症(強皮症)
4. パーキンソン病

1 1 8 はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

1. 褐色細胞腫 ————— 血中カテコールアミン低値
2. アジソン病 ————— 血中ACTH低値
3. 原発性アルドステロン症 ——— 血漿レニン活性低値
4. 原発性甲状腺機能低下症 ——— 血中TSH低値

1 1 9 はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

1 2 0 はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

C 副腎疾患 c 副腎皮質機能低下症 (アジソン病)

1 7 問

1 2 1 はき 1-58 顔色で誤っているのはどれか。

1. 貧血では蒼白になる。
2. 低酸素血症ではチアノーゼを生じる。
3. 肝硬変では黄色となる。
4. アジソン病では白くなる。

1 2 2 はき 2-70 二次性高血圧の原因とならない疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アルドステロン症
3. アジソン病
4. バセドウ病

1 2 3 はき 12-57 テタニーをきたさないのはどれか。

1. 過換気症候群
2. 副甲状腺機能低下症
3. 原発性アルドステロン症
4. アジソン病

1 2 4 はき 13-71 アジソン病の症状で ACTH 増加によるのはどれか。

1. 腋毛脱落
2. 色素沈着
3. 低血圧
4. 低血糖

1 2 5 はき 15-52 尿路結石がみられないのはどれか。

1. 原発性副甲状腺機能亢進症
2. ビタミンD過剰症
3. 痛 風
4. アジソン病

1 2 6 はき 15-62 疾患と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体性尿崩症 — 高張尿
2. 甲状腺機能亢進症 — 高コレステロール血症
3. 副甲状腺機能低下症 — 高カルシウム血症
4. アジソン病 — 高カリウム血症

1 2 7 はき 16-69 甲状腺刺激ホルモンが高値となるのはどれか。

1. アジソン病
2. バセドウ病
3. 粘液水腫
4. 胞状奇胎

1 2 8 はき 17-58 肥満をきたす疾患はどれか。

1. 下垂体機能低下症
2. 甲状腺機能亢進症
3. クッシング症候群
4. アジソン病

1 2 9 はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症 — 高カリウム血症
2. クッシング症候群 — 高血糖
3. 褐色細胞腫 — 低血圧
4. アジソン病 — 多 毛

1 3 0 はき 18-60 疾患と視診の組合せで誤っているのはどれか。

1. アジソン病 — 満月様顔貌
2. 肝硬変 — クモ状血管腫
3. 全身性エリテマトーデス — 蝶形紅斑
4. パーキンソン病 — 前傾姿勢

1 3 1 はき 19-67 アジソン病でみられないのはどれか。

1. 多 毛
2. 黒色斑点
3. 低血圧
4. 月経異常

1 3 2 はき 20-56 低カリウム血症がみられるのはどれか。

1. 橋本病
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 褐色細胞腫

1 3 3 はき 24-47 レイノー現象がみられるのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. アジソン病
3. 全身性硬化症(強皮症)
4. パーキンソン病

1 3 4 はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

1. 褐色細胞腫 ————— 血中カテコールアミン低値
2. アジソン病 ————— 血中ACTH低値
3. 原発性アルドステロン症 ——— 血漿レニン活性低値
4. 原発性甲状腺機能低下症 ——— 血中TSH低値

1 3 5 はき 28-49 疾患と視診所見の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. アジソン病 ————— 恥毛脱落
2. バセドウ病 ————— 眉弓部突出
3. クッシング病 ————— 水牛様脂質沈着
4. 甲状腺機能低下症 ——— 眉毛外側 1/3 脱落

1 3 6 はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

1 3 7 はき 29-58 不眠がみられにくいのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. バセドウ病

C 副腎疾患 d 褐色細胞腫

1 5 問

1 3 8 はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。

1. バセドウ病は男性に多い。
2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。

1 3 9 はき 2-70 二次性高血圧の原因とならない疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アルドステロン症
3. アジソン病
4. バセドウ病

1 4 0 はき 3-61 やせをきたさない疾患はどれか。

1. 甲状腺機能亢進症
2. 糖尿病
3. クッシング症候群
4. 褐色細胞腫

1 4 1 はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 — 多尿
2. 褐色細胞腫 — 高血圧
3. バセドウ病 — 眼球陥凹
4. 先端巨大症 — 舌の肥大

1 4 2 はき 7-76 高血圧がみられない疾患はどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. 褐色細胞腫

1 4 3 はき 8-72 四肢麻痺をきたす疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 尿崩症
3. アジソン病
4. 原発性アルドステロン症

1 4 4 はき 10-74 四肢の筋力低下をきたさないのはどれか。

1. バセドウ病
2. 褐色細胞腫
3. 原発性アルドステロン症
4. 低カリウム血症

1 4 5 はき 11-54 二次性高血圧症に関与しない疾患はどれか。

1. 急性糸球体腎炎
2. 甲状腺機能亢進症
3. 急性肝炎
4. 褐色細胞腫

1 4 6 はき 13-70 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「45歳の男性。高血圧、多尿、四肢麻痺、低カリウム血症、高ナトリウム血症を認めた。」

1. 尿崩症
2. 原発性アルドステロン症
3. 褐色細胞腫
4. 副甲状腺機能亢進症

1 4 7 はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|----------------|---|---------|
| 1. 原発性アルドステロン症 | ー | 高カリウム血症 |
| 2. クッシング症候群 | ー | 高血糖 |
| 3. 褐色細胞腫 | ー | 低血圧 |
| 4. アジソン病 | ー | 多毛 |

1 4 8 はき 19-55 周期性四肢麻痺がみられるのはどれか。

1. 高尿酸血症
2. 骨軟化症
3. 褐色細胞腫
4. 原発性アルドステロン症

1 4 9 はき 20-56 低カリウム血症がみられるのはどれか。

1. 橋本病
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 褐色細胞腫

1 5 0 はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

1. 褐色細胞腫 ————— 血中カテコールアミン低値
2. アジソン病 ————— 血中ACTH低値
3. 原発性アルドステロン症 —— 血漿レニン活性低値
4. 原発性甲状腺機能低下症 —— 血中TSH低値

1 5 1 はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

1 5 2 はき 29-58 不眠がみられにくいのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. バセドウ病

【180 問用 解答欄：横記入】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105
106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135
136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150
151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【180 問用 解答：横記入】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
2	2	1	2	2	4	3	3	1	2	1	1	1	1	4
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2	4	4	3	3	2	3	4	3	3	3	2	1	1	3
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
3	3	4	2	3	3	1	2	2	2	3	2	4	3	4
46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
3	3	4	3	4	2	1	2	3	3	3	3	2	1	2
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
2	1	2	2	3	2	4	1	2	1	2	3	1	1	2
76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
3	3	2	3	3	1	3	1	1	1	3	3	2	3	1
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105
3	4	3	3	2	1	3	2	1	3	1	2	2	3	4
106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
2	2	4	3	3	2	1	2	4	2	4	3	3	2	1
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135
4	3	4	2	4	4	3	3	2	1	1	3	3	3	2
136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150
2	2	1	3	3	3	3	4	2	3	2	2	4	3	3
151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165
2	2													
166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180